

## ETAP Technical Report - No. 013

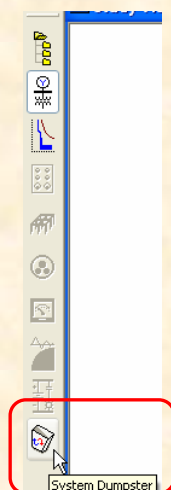
## Part 1 - ETAP System Dumpster (ごみ箱を上手に使う！)

## 概要：

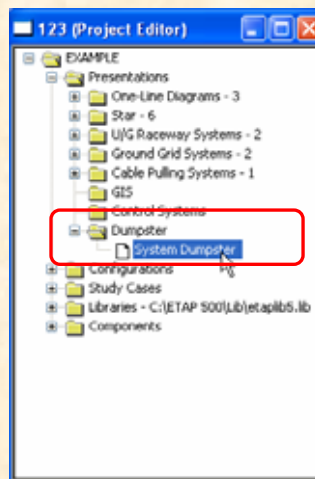
ETAP の System Dumpster (ごみ箱) は Windows OS のごみ箱 (Recycle Bin) と同じような機能を持っています。ETAP の単線結線図や埋設ケーブル経路システムの画面からコピー (Copy) または 削除 (Cut) された全てのエレメント (セル) はごみ箱に一時保管されます。これらのエレメント (セル) はユーザが完全に削除 (Purge) するまで、ごみ箱に保管されています。ごみ箱から削除されたエレメント (セル) は ETAP のプロジェクト・データベースから自動的に削除されます。エレメント (セル) がごみ箱の中にある間は、いつでも単線結線図や埋設ケーブル経路システムに戻したり、貼付けたりすることができます。

ごみ箱には ETAP 画面の左側にあるシステム・ツールバーのアイコンから (ETAP 5.0 以降)、あるいはプロジェクト・ビュー (エディタ) から (ETAP 4.7.6 以前も可能) アクセスすることができます。ごみ箱にアクセスすると画面が次頁の図 1 のように変わります。

System Toolbar



Project View (Editor)



## 操作方法 1：

単線結線図のコピー (Copy) または 削除 (Cut) コマンドを使う！

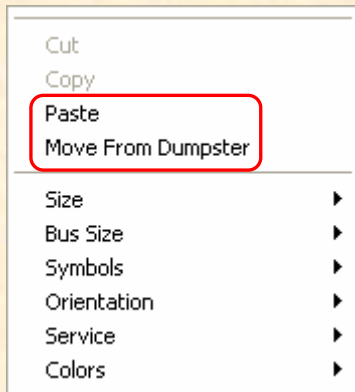
- 単線結線図のエレメントをコピーする (コピー操作をする) と ETAP はこれらのエレメントに 新たな ID を付けてごみ箱に一時保管します (次頁の図 1 参照)。
- 単線結線図のエレメントを削除する (削除操作をする) とこれらのエレメントは 元の ID のままごみ箱に一時保管されます (次頁の図 1 参照)。

## 注記：

削除 (Cut) されたエレメントは元の ID のままごみ箱に保管されていますので、これらのエレメントをごみ箱から完全に削除 (Purge) するまで、これらの ID を単線結線図上で使用することができません。

**操作方法 2 :**

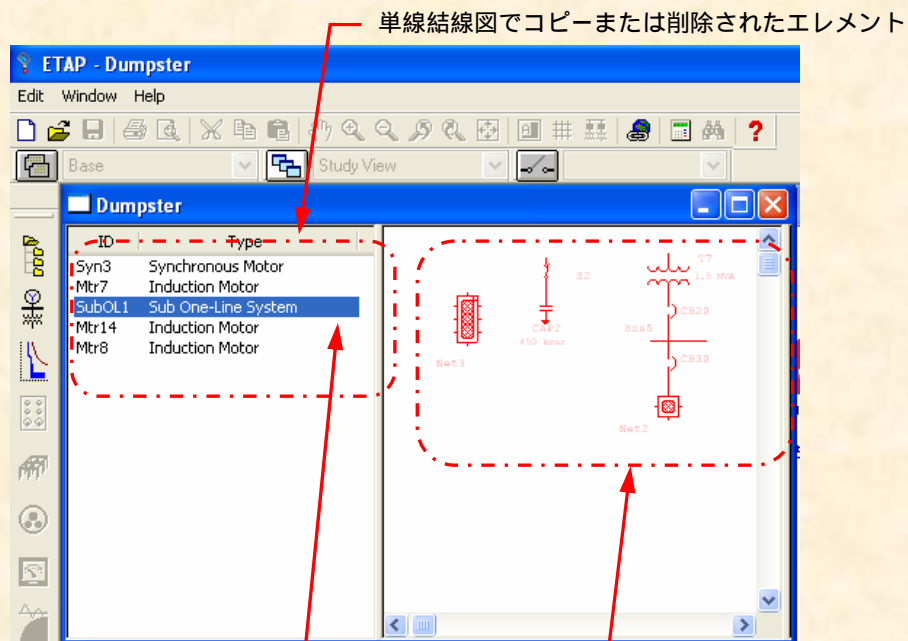
単線結線図の貼付(Paste) または ごみ箱から移動(Move From Dumpster) コマンドを使う！



- ごみ箱内のエレメントをアクティブにして単線結線図上で貼付け (Paste)<sup>\*1</sup> 操作をすると、ETAP はこれらのエレメントに 新たな ID を付けて単線結線図に貼付けます。
- ごみ箱内のエレメントをアクティブにして単線結線図上でごみ箱から移動 (Move From Dumpster)<sup>\*2</sup> 操作をすると、ETAP は元の ID のままこれらのエレメントを単線結線図に貼付けます<sup>\*3</sup>。

**注記 :**

- <sup>\*1</sup> 貼付け (Paste) コマンドを使用した場合、これらのエレメントは (次号で説明する削除操作を行うまで)、ごみ箱の中に残っています。
- <sup>\*2</sup> ごみ箱から移動 (Move From Dumpster) コマンドを使用すると、これらのエレメントはごみ箱から単線結線図に移動します。
- <sup>\*3</sup> ごみ箱の中でアクティブ (選択された) なエレメントが (図 1 参照) 貼付けまたはごみ箱から移動の対象となります。デフォルトで、単線結線図から最後にコピーまたは削除されたエレメントがアクティブになっています。



アクティブなエレメント

アクティブ (選択された) なセルに含まれているエレメント

図 1 – System Dumpster (ごみ箱)